「進行腎癌に対する薬物療法の効果に DPP4 阻害薬が与える影響：多施設共同臨床研究」

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2001 年 1 月 1 日から 2021 年 6 月 31 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、進行腎癌と診断され、診療を実施した患者さんを対象としております。

２．研究の目的

進行腎癌では薬物療法を行いますが、薬物に抵抗し、病状が悪化することがあります。そのような薬物の抵抗性を解除する方法がないかを見つけることが目的です。

３．研究期間

病院長の許可後～2030 年 3 月 31 日

４．利用または提供の開始予定日

2024 年 10 月 30 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

検査データ、診療録を利用します。カルテ番号等の個人を特定しうる情報は用いません。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である北山沙知が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

進行腎癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター　　泌尿器科　　北山沙知（研究代表者）

・埼玉医科大学国際医療センター　　泌尿器腫瘍科　　城武卓
・千葉大学大学院医学研究院　　泌尿器科学　　坂本信一

４．試料・情報の管理責任者

＜提供元機関＞埼玉医科大学総合医療センター　病院長　別宮好文

＜提供先機関＞埼玉医科大学国際医療センター、千葉大学大学院医学研究院

５．試料・情報の提供方法等について

＜情報＞パスワードをかけた電子ファイルを、メールで送信します。個人が特定できないようになったファイルです。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。
利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター　泌尿器科　北山　沙知
住所：埼玉県川越市鴨田 1981
電話：049-228-3673（土日祝日を除く 9:00～17：00）

〇研究課題名：進行腎癌に対する薬物療法の効果に DPP4 阻害薬が与える影響：多施設共同臨床研究
〇研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター　泌尿器科　北山　沙知